

令和3年4月30日（金）
全国医学部長病院長会議事務局
Web会議にて実施



全国医学部長病院長会議
令和3年度4月理事会
議事録



一般社団法人 全国医学部長病院長会議

令和3年度 4月理事会 議事録

1. 開催年月日 : 令和3年4月30日(金) 13時00分から16時00分まで

2. 開催場所 : Web会議形式により実施(全国医学部長病院長会議事務局)

3. 出席者 : 総数50名(うち45名はWeb会議による出席)

会 長	湯澤 由紀夫			
副 会 長	富澤 一仁			
理事(26名)	古川 博之	小笠原 邦昭	尾野 恭一	
	篠塚 望	瀬戸 泰之	内田 信一	
	三木 保	天谷 雅行	渡邊 卓	
	渡辺 雅彦	中尾 篤人	染矢 俊幸	
	中山 淳	松山 幸弘	道川 誠	
	須藤 啓広	岩井 一宏	平田 一人	
	南 敏明	友田 幸一	福永 仁夫	
	上田 夏生	三浦 裕正	小玉 正太	
	中尾 篤人	大屋 祐輔		
顧問(1名)	新井 一			
監事(2名)	別所 正美	稲垣 暢也		
委員長・座長	(15名)			
事務局	(4名)			

4. 欠席者 : 総数3名

理事(2名)	竹石 恭知	金澤 右	
顧問(1名)	山下 英俊		

榑山事務局長より、理事会定足数を満たしていることが報告され、規定に基づき湯澤会長が議長となった。議長は、Web会議システムにより出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、議事に入った。

【会長報告】

議長から、前回の令和2年11月27日理事会以降から本日までの活動等について報告があった。

【確認事項】 令和2年11月理事会議事録について

議長から、前回の令和2年11月27日理事会議事録の確認が行われ、監事より承認されたとの報告があった。

【審議事項】

第1号議案：理事候補者の推薦について

議長から辞任理事の後任者を補欠選任したい旨の説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。また、令和3年5月28日開催の定例社員総会で審議することが併せて了承された。

記

所属大学	現理事	後任者
旭川医科大学	古川博之	平田哲
山梨大学	中尾篤人	平田修司
名古屋市立大学	道川誠	高橋智
岡山大学	金澤右	前田嘉信
愛媛大学	三浦裕正	杉山隆
熊本大学	富澤一仁	山縣和也

第2号議案：副会長の選任について

議長から富澤副会長の後任を選任したい旨の説明があり、秋田大学 尾野 恭一 医学部長が推薦され、審議の結果了承された。

第3号議案：相談役の選任について

議長から富澤 一仁 前副会長(熊本大学副学長)を相談役に推薦したい旨の説明があり、審議の結果了承された。

第4号議案：専門委員会委員長、WG座長の交代について

議長から交代の申し出があった委員長の後任者を補欠選任したい旨の説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。また、令和3年5月28日開催の定例社員総会で審議することが併せて了承された。

記

委員会名	現委員長	後任者
共用試験検討委員会	河野 嘉文（鹿児島大学）	佐藤 慎哉（山形大学）
被災地医療支援委員会	富澤 一仁（熊本大学）	尾野 恭一（秋田大学）

第5号議案：専門委員会、WGの改組について

議長から専門委員会・WGの改組についての説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。また、令和3年5月28日開催の定例社員総会で審議することが併せて了承された。

記

新委員会名	改組内容	委員長
地域の医療及び医師養成の在り方に関する委員会	地域医療検討委員会と、地域における医師養成の在り方に関する委員会を統合	大屋 祐輔 (琉球大学)
医師の働き方改革検討委員会	臨床系教員の働き方改革検討WGを委員会として再編・独立	横手 幸太郎 (千葉大学)
医学部・医科大学の白書調査委員会	親委員会(調査解析検討委員会)を廃止し、医学部・医科大学の白書調査WGを委員会として独立	道川 誠 (名古屋市立大学)
カリキュラム調査委員会	親委員会(調査解析検討委員会)を廃止し、カリキュラム調査WGを委員会として独立	伊野 美幸 (聖マリアンナ医科大学)

第6号議案：2020年度事業報告案

第7号議案：2020年度収支決算案

榊山事務局長から2020年度における本会議の事業状況についての説明があり、監事から承認されたとの報告があった。また、令和3年5月28日開催の定例社員総会で審議することが併せて了承された。

第8号議案：2021年度事業計画案

第9号議案：2021年度収支予算案

第10号議案：会費規程第2条の取扱いについて

榊山事務局長から2021年度における本会議の事業計画案および収支予算案についての説明があり、2021年度に限り会費を1大学130万円のところ、1大学50万円に減額することで了承された。また、2021年度の会費の減額に関する規定の改正についての説明があり了承され、併せて令和3年5月28日開催の定例社員総会で審議することが了承された。

【報告事項】

各専門委員会委員長および各ワーキンググループ座長から以下の報告があった。

(1) 医学教育委員会（齊藤委員長）

令和3年3月に実施した各大学における新型コロナウイルスへの対応に関するアンケート調査の結果について、コロナ禍における医学教育の状況は、前年度よりも回復傾向

にある旨の報告があった。また、本年秋にも同様の調査を実施する予定である旨の説明があった。

(2) 大学医学部入学試験制度検討小委員会（渡邊委員長）

2019年に実施した医学部入学試験に関するアンケート調査の結果を、2020年12月末に公表し、各大学にフィードバックした旨の説明があった。今後、委員会で内容を検討した上で2020年度と2021年度分の調査を実施し、それ以降も継続して実施したい考えである旨が報告された。

また、地域枠の入試形態についてのアンケートを地域の医療及び医師養成の在り方に関する委員会とも協議の上実施し、結果を示して行きたいとの考えが示された。

(3) 国家試験改善検討WG（岩間座長）

令和3年2月に行われた第115回医師国家試験についてのアンケートを実施した旨が報告された。また、今年から全ての大学の学生を対象にアンケートを実施し、2,138名から回答が得られた旨の報告があった。

7月には集計結果が出て、8月に報告書を作成する予定で、委員の大学を対象に実施している試験問題に関するアンケート結果も同時期に報告する予定であるとの説明があった。

(4) 卒後臨床研修検討WG（汲田座長）

令和3年3月にオンラインでワーキンググループを開催し、2020年4月に3回目の改訂が実施された臨床研修制度についてのアンケート調査を、2021年度末までに実施することになった旨の報告があった。

(5) 専門医に関するWG（古川座長）

ワーキンググループにおいて「専門医更新時における地域貢献の義務化」、「シーリングの問題点」、「総合診療専門医の研修に関する大学病院のベッド確保」についての検討を行い、委員から出された意見は集約して専門医機構に対して発信して考えが示された。

(6) 共用試験検討委員会（河野委員長）

本年2月に国会に提出された医師法の改正法案において共用試験の公的化が検討されており、その疑問点及び懸念事項について委員会で検討を行った旨の報告があった。4月の三者懇談会の際に厚労省に確認したところ、詳細については何も決まっていないということだったが、可決された場合、令和5年4月に施行されるため、準備期間が非常に短時間となるので、医学教育委員会と共に検討を進めて行きたいとの考えが示された。

(7) 医学部大学院のあり方検討委員会（北川委員長）

医学部大学院の現況に関するアンケート調査を実施し、現在調査結果を取りまとめている旨の報告があった。今後、調査結果を元に委員会で議論を進め、その内容について皆様に報告させていただきたいとの考えが示された。

(8) 患者安全推進委員会（坂本委員長）

医療事故調査制度に関するアンケート調査について、令和2年度分は論文化して日本医師会雑誌に掲載する予定であり、令和3年度分については例年通り調査を実施し、新

たな調査項目（M&Mカンファレンスのような症例検討会が行われ、実際に医療安全に役立っているか）も踏まえ、各大学からの意見を取りまとめたという考えが示された。

また、委員会では無過失補償制度についての検討を行っており、詳しい先生方の講義や、本件について先進国であるフランスにおける状況を現地の専門家を交え議論する予定である旨の報告があった。

乳腺外科医の刑事裁判については、裁判の結果を受け、我々アカデミアからも公正中立で科学的な判断を尊重してほしいという提言を出すことを検討している旨の説明があった。

(9) 経営実態・労働環境WG（海野座長）

2年ごとに行っている大学病院経営実態調査を本年5月から実施し、6月末に締め切ったのち、秋から冬には結果を取りまとめて情報共有ができるよう進めて行く旨の報告があった。また、今回の調査では、医師の交代勤務制、変形労働時間制の導入の状況、特定看護師の養成や導入に関する取り組み状況等についても追加で調査する旨の説明があった。

(10) 臨床系教員の働き方改革WG（山本座長）

昨年の暮れに厚生労働省の医師の働き方改革の推進に関する検討会が中間取りまとめを出し、それを元に現在開催中の国会で医療法改正の審議が進められており、この審議の過程で参議院の厚生労働委員会に参考人として呼ばれ、大学病院の立場について説明して来た旨の報告があった。

また、本件は施行まで2年を切っているが、様々な問題が山積みで、大学間の温度差もあるため、今後は定期的に厚労省・文科省を交えたセミナーを開催してコミュニケーションを重ねながらAJMCとしての意見を取りまとめていく必要がある旨の考えが示された。

(11) 臨床研究・利益相反検討委員会（苛原委員長）

昨年11月の理事会で承認された「製薬企業の謝金等の受領の在り方に関する提言」について、文科省が今期の国会でこの提言を提示したところ、大きな問題にはならなかったという報告がなされた。文科省の希望もあり、この提言後における各大学の動向を5月の総会以降に調査する予定である旨の説明があった。

一昨年より実施している臨床研究法に関するアンケート調査については、5月の総会終了後に実施し、その結果を元に厚生労働省等に働きかけたいとの説明があり、併せて、可能であれば奨学寄附金についてのアンケート調査も実施したいとの考えが示された。

また、本年4月1日に制定された「人を対象とする生命科学・医学系に関する倫理指針」を踏まえ、現在我々が持っている臨床研究やCOIのガイドラインを見直して改訂をしたいとの考えが示された。

(12) 広報委員会（天谷委員長）

委員会において、ホームページをより見やすく、スマートフォンにも対応したものにするための検討を行っている旨の報告があった。また、将来的には広報誌を電子化し、ホームページから閲覧できるようにして、AJMCの活動をより多くの社会の方に知っていただくべく努力をして行きたい旨の考えが示された。

(13) 新型コロナウイルス（COVID-19）に関わる課題対応委員会（瀬戸委員長）

4月13日付けで「新型コロナウイルス感染症に関する緊急アンケート」を実施し、大学病院がかなりの割合の重症者を担っていることが分ったとの報告があった。

また、現在、特に関西圏の大学病院において、第4波の影響で集中治療室を全てコロナに向けざるを得ないという状況が起きており、大学病院が担うべき高度な医療ができなくなる危機に瀕しており、今後ほかの地域でも同じ状況が起こりうる可能性が高いことを鑑みると、AJMCとして早い時期に何らかの声明を出す必要があるという考えが示された。

(14) 医学部・医科大学の白書調査WG（道川座長）

2年に1度実施している「白書調査」を令和2年の夏以降に実施し、集計の後、回答を精査し、再調査が必要な大学に再度の要請をして、現在、ほぼ完成の段階である旨の報告があった。今回は、新たに学生を対象としたアンケートを実施したところ、約11.4%の学生から回答があり、教育を受ける側の考え方や意見も白書に盛り込む旨の説明があった。

(15) カリキュラム調査WG（伊野座長）

1月に第1回目のワーキンググループを開催し、今年度の調査内容とグループ分けおよびスケジュールについて検討を行った旨の報告があった。また、新型コロナウイルス感染症についての設問は、他の委員会とすり合わせを行った上で実施したい旨の説明があった。

(16) 地域における医師養成の在り方に関する委員会（大屋委員長）

令和2年度に実施した調査および意見交換会についての説明があった。

調査については例年通り、地域枠制度、地域医療センターの現状、地域枠学生の転帰についての調査を実施し、全大学からの回答が揃い次第、報告書の最終版を作成する旨の報告があった。

これまで従来対面で行ってきた意見交換会については、新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの開催となった旨の説明があった。

また、令和3年度以降の委託事業費について、文科省と調整中である旨の報告があった。

(17) 男女共同参画推進委員会（唐沢委員長）

昨年の12月から2月にかけて全国の大学の医師を対象に「男女共同参画に対する意識調査」を実施し、全ての大学からトータルで5,003名分の回答が得られたとの報告があった。非常に多くのデータが得られたため、世代別や性別における差をデータ化して、フィードバックをして行くことが必要だとの考えが示された。

【その他報告】

(1) 三者懇談会 -文部科学省・厚生労働省・全国医学部長病院長会議-

議長から昨年12月24日と本年4月20日に三者懇談会を開催した旨が報告され、各回の議論の内容について説明があった。

(2) 医療に関する懇談会 -日本医師会・全国医学部長病院長会議-

議長から本年4月8日に懇談会を開催した旨が報告され、その際の意見交換の内容について説明があった。

(3) 理事会及び総会の開催日程

櫛山事務局長から今後の理事会および総会の開催予定について説明があった。

本日のWeb会議システムを用いた理事会は、通信状態に終始異状はなく、滞りなく議題の審議が行われ終了したので、議長は閉会を宣した。

議事の経過及びその結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席代表理事及び監事は下記に記名押印する。

令和3年4月30日

一般社団法人全国医学部長病院長会議 理事会

議長
代表理事

湯澤由記夫



監事

別所正美



監事

箱垣暢也

